

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	971	課コード	1005	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団等の強化・充実 個別事業 団行事	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・東消防署				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	45人 (換算人数)		4.74人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 41,712千円 (うち人件費 41,712千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。 ・規律訓練、毎年5月に主として訓練礼式を中心に実施する。 ・操法訓練、毎年5月から6月までの間にポンプ操法を中心に訓練実施、併せて市操法大会を実施する。 ・水防訓練、毎年6月に主として水防工法を中心に実施する。 ・その他の業務、出初式等を実施する。			事業目的	各種訓練、演習等を通し消防資器材の操作の確実性、迅速性および、消防団員を諸制式に熟練させ、その部隊行動を確実軽快にし、厳正な規律を身に付けさせ、諸般の要求に適應する為の基礎を作る。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	・規律訓練、5月中旬に市内21ヶ分団を召集し実施。 ・操法訓練、5月から6月までの間に市内21ヶ分団で実施。6月中旬に我孫子市操法大会実施。 ・水防訓練、6月中旬に我孫子市内において我孫子市、柏市共催にて実施。 ・その他の業務、平成30年1月中旬に消防出初式を市内21ヶ分団および、消防本部、署にて実施。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
	当該年度	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%	100	100	
	平成31年度	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%		100	
	令和2年度	消防資器材の操作の確実性、迅速性および団員の資質の向上。			直接	消防団員及び新入団員の資質の向上		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	団員の職業がサラリーマン化傾向による各種訓練への出席率の低下があり、知識技術を熟練するまでに時間がかかる。そのため、マニュアルや資料等を団員に配布し対応する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		規律訓練		0	規律訓練		0	0	規律訓練		0
		操法訓練		0	操法訓練		0	0	操法訓練		0
		水防訓練		0	水防訓練		0	0	水防訓練		0
その他業務		0	その他業務		0	0	その他業務		0		
予算(決算)額	合計		0	合計		0	0	合計		0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		0			0	0			0	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	□特会 □受益 □基金 □その他		0
(10) 人件費等	換算人数(人)	4.84		4.74		4.74		4.74			
	正職員人件費	42,592		41,712		41,712		41,712			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	42,592		41,712		41,712		41,712			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	6,084.57千円/回		5,958.86千円/回		5,958.86						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域防災体制の確立を期するため、各種訓練等実施し消防体制の強化を図る。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 消防団員強化、知識の習得により地域防災体制の強化を図るための事業の必要性があった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> <市実施の具体的な内容> 各種訓練・演習等の指導 <必要性の理由> 市の消防行政については市が実施することとされているため、市が主導で進めることで実効性を確保する必要があった。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 年間計画に基づき消防団行事を実施したため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	41,712	880	<削減の内容>		41,712	100	<超過理由等>		
事業費削減率(%)									
2.07									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.24		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		単位 費用単位			0.24	100			
		%		10万円					

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	地域防災の担い手として大きな役割を果たしている消防団の定数を確保し、消防機関及び消防団や関係機関等が相互に連携しながら地域防災力の強化に努めることは必要不可欠であり、今後も現状とおり推進していく。									

事務事業評価表(平成30年度)

事業コード 972 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 經常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 本業務は、市民の防火意識を高めるため、必要不可欠な事業となっていることから、今後も現状どおり推進していく必要がある。
改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (973), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表(平成30年度)

事業コード 1649 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 經常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント
改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (1650), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (消防体制の強化・充実), ②事業主体 (市), ③事業期間, ④対象地区 (全市), ⑤担当職員数 (45人), ⑥事業費 (38,016千円), ⑦実施計画への位置づけ (有), ⑧実施計画への位置づけ (有)

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

3. 事後評価
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 本事業は火災等から市民の生命財産を守るという施策の実現に効果的な事業となっていることから今後も引き続き現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (1651), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and comments.

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード 1663 課コード 1005 会計種別 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ●有 ○無, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 45人 (換算人数 4.12人), ⑦事業費(人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 空地の適正管理を指導することで、災害等の発生率を軽減できることから市民サービスとして重要な事業であり、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	1693	課コード	1005	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	個別事業 消防立入検査業務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	45人 (換算人数) 3.39人										
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	29,832千円 (うち人件費 29,832千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ防火安全の確保を図る。								
(3) 事業内容	内容	消防法第4条、第16条の5及び我孫子市予防査察規程に基づき、年間定期査察計画をたて、市内防火対象物に対し立入検査を実施する。また、防火管理の状況や消防用設備等の管理状況が適正であるかどうか確認し不備がある場合には立入検査結果通知書により指摘し改修計画書により是正を促す。			当該年度執行計画	年間定期査察計画に基づき、防火対象物の立入検査実施 3月：次年度の年間定期査察計画の作成 通年：違反対象物に対して追跡調査の実施								
		当該年度活動結果指標	立入検査実施件数	単位	件	想定値	60		実績値	49				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%	100	100					
平成31年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%		100					
令和2年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期査察計画数		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応	関係者の防火管理の認識が低いケースが見受けられるため、防火管理の徹底を図らせ、火災予防の重要性を認識させる必要がある。			代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		立入検査の実施	0	立入検査の実施	0	立入検査の実施	0	立入検査の実施	0	立入検査の実施	0	立入検査の実施	0	
		自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0	
		合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0			
一般財源		0		0		0		0		0	0			
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	3.44	換算人数(人)	3.39	換算人数(人)	3.39	換算人数(人)	3.39	換算人数(人)	3.39	換算人数(人)	3.39		
正職員人件費	30,272		正職員人件費	29,832	正職員人件費	29,832	正職員人件費	29,832	正職員人件費	29,832	正職員人件費	29,832		
嘱託職員報酬額	0		嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0		
臨時職員賃金額	0		臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	30,272		事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,832	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,832	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,832	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,832	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	29,832		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	504.53千円/件		497.2千円/件		608.82									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消防法、火災予防条例に基づく事務事業が必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 防火対象物の立入検査を行うことにより、火災等の災害による危険を事前に排除することが目的であり必要な事業である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ●②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> <市実施の具体的な内容> 消防法に準拠した立入検査 <必要性の理由> 法令により消防機関の実施が必要である。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 年間査察計画のとおり予定を組み、滞りなく定期査察を実施できたため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.34	単位 費用単位 %	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	防火対象物の立入検査を行うことにより、火災の危険や、人命の危険等を事前に排除し、万が一火災が発生した場合にはその被害を最小限に抑えることが目的であり、今後も引き続き現状どおり推進していく。									